

《担当者名》 池森康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋由紀 高橋亮

【概要】

介護の「質」が大きく問われている状況の中で、専門職としての基本的な考え方や姿勢の根幹となる。新しい介護の考え方である介護を必要とする人の生活を支える意義や実践について、自分達の生活に照らし合わせて考えていく。

【学修目標】

介護を必要とする人の理解を多面的にとらえることができる。
 介護を必要とする人の生活を支える仕組みについて理解する。
 多職種との連携について理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 介護を必要とする人の理解	授業の内容と進め方、達成課題についての説明 授業の全体像について理解する 生活の個別性と多様性を理解することができる。	池森
2	介護を必要とする人の理解 生活の理解	高齢者の生活 高齢者の生活の個別性と多様性を理解することができる。	池森
3	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活1 生活のニーズや生活を支える基盤について理解することができる。	高橋亮
4	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活2 家族、地域とのかかわりについて理解することができる。	高橋亮
5	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活3 働くことの意義と地域活動について理解することができる。	池森
6	介護を必要とする人の理解	障害者の生活1 障害者の生活の個別性と多様性を理解することができる。	高橋由紀
7	介護を必要とする人の理解	障害者の生活2 生活のニーズや生活を支える基盤について理解することができる。	高橋由紀
8	介護を必要とする人の理解	障害者の生活3 家族、地域とのかかわりについて理解することができる。	高橋由紀
9	介護を必要とする人の理解	障害者の生活4 働くことの意義と地域活動について理解することができる。	高橋由紀
10	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活1 積雪地域の生活特性について理解することができる。	高橋由紀
11	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活2 積雪地域と身体面との関係について理解することができる。	池森
12	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活3 積雪地域と心理面との関係について理解することができる。	高橋由紀
13	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活4 事例をもとに積雪地域の生活課題と制度について理解することができる。	高橋由紀
14	介護を必要とする人の理解	家族介護者の理解と支援1 家族が介護することについて理解することができる。	高橋由紀

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	介護を必要とする人の理解	家族介護者の理解と支援2 家族介護者を支える支援の在り方と家族介護者の会の活動について理解することができる。	高橋由紀
16	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人が暮らす地域の理解と連携の意義について理解することができる。	池森
17	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	ケアマネジメントについて理解することができる。	高橋由紀
18	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	地域包括ケアシステムについて理解することができる。	池森
19	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	地域包括ケアシステムについて事例を使い実際に理解することができる。	池森
20	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護を必要とする人の生活の拠点について理解できる。（施設）	池森
21	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護を必要とする人の生活の拠点について理解できる。（在宅）	池森
22	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護保険サービスについて理解することができる。	高橋由紀
23	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 障害福祉サービスについて理解することができる。	高橋由紀
24	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	インフォーマルな支援の活用 インフォーマルサポートの役割について理解することができる。	池森
25	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	インフォーマルな支援の活用 事例をもとにインフォーマルサービスの実際を理解することができる。	池森
26	協働する多職種の機能と役割	多職種の役割と専門性を理解することができる。 医療・保険の役割と専門性について理解することができる。 福祉職の役割と専門性について理解することができる。	池森
27	協働する多職種の機能と役割	多職種の役割と専門性を理解することができる。 栄養・調理職の役割と専門性について理解することができる。 その他の専門職の役割と専門性について理解することができる。	池森
28	協働する多職種の機能と役割	多職種連携の意義と課題について理解することができる。	高橋由紀
29	協働する多職種の機能と役割	チームアプローチについて事例を通し理解することができる。（施設）	高橋由紀
30	協働する多職種の機能と役割	チームアプローチについて事例を通し理解することができる。（在宅）	池森

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

参加態度40% (参加態度には授業時の受講姿勢、リアクションペーパーの内容、グループワーク等における貢献等を含む)
最終レポート60%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新介護福祉士養成講座 介護の基本 第2版』中央法規 2022年

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護の基本」に該当する。
授業の進捗等により、シラパスの内容、順番は変わることがある。

【学修の準備】

予習は、新聞・ニュースなどによく目を通し、介護問題について理解しておくこと（2時間）。

復習は、講義を受けて視点を变えて社会の事象を考え、理解すること（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

池森 康裕（介護福祉士）、高橋 由紀（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。